

環境への影響

— 余野川ダム事業による影響について —

環境への影響

1 余野川ダム事業地の周辺状況

○ダム建設地点

余野川ダムの建設が予定されている箕面市止々呂美地域は、古くから里山として、人と自然が共生してきた場所です。



○ダム建設地点



○分派堰周辺

分派堰

導水トンネル

余野川

止々呂美地区

箕面市

水と緑の
健康都市



○ 周辺の開発

既成の開発

- ・ 宅 地 : 伏尾台、光風台、ときわ台、東ときわ台、
大和団地、川西ニュータウン
- ・ ゴルフ場 : 伏尾ゴルフ倶楽部、能勢カントリー倶楽部
- ・ 道 路 : 第二名神高速道路、国道423号バイパス
- ・ その他 : 霊園2箇所、採石場、生コンクリート工場

大和団地

光風台

ときわ台

○周辺の開発

川西ニュータウン

伏尾カントリー

倶楽部

採石場

伏尾台

東ときわ台

水と緑の
健康都市

第2名神高速道路

国道423号バイパス

(箕面トンネル)

色	名称
青	大和団地
緑	川西ニュータウン
黄	伏尾カントリー倶楽部
赤	伏尾台
紫	採石場
白	東ときわ台
黒	水と緑の健康都市

資料 2001年8月

○ 周辺の開発

実施中の開発

余野川ダムの貯水池周辺をとりまくように大阪府が事業主体となった宅地開発事業(水と緑の健康都市)が進められています。平成19年春には一部まちびらきが予定されています。

ときわ台

水と緑の
健康都市

付替市道

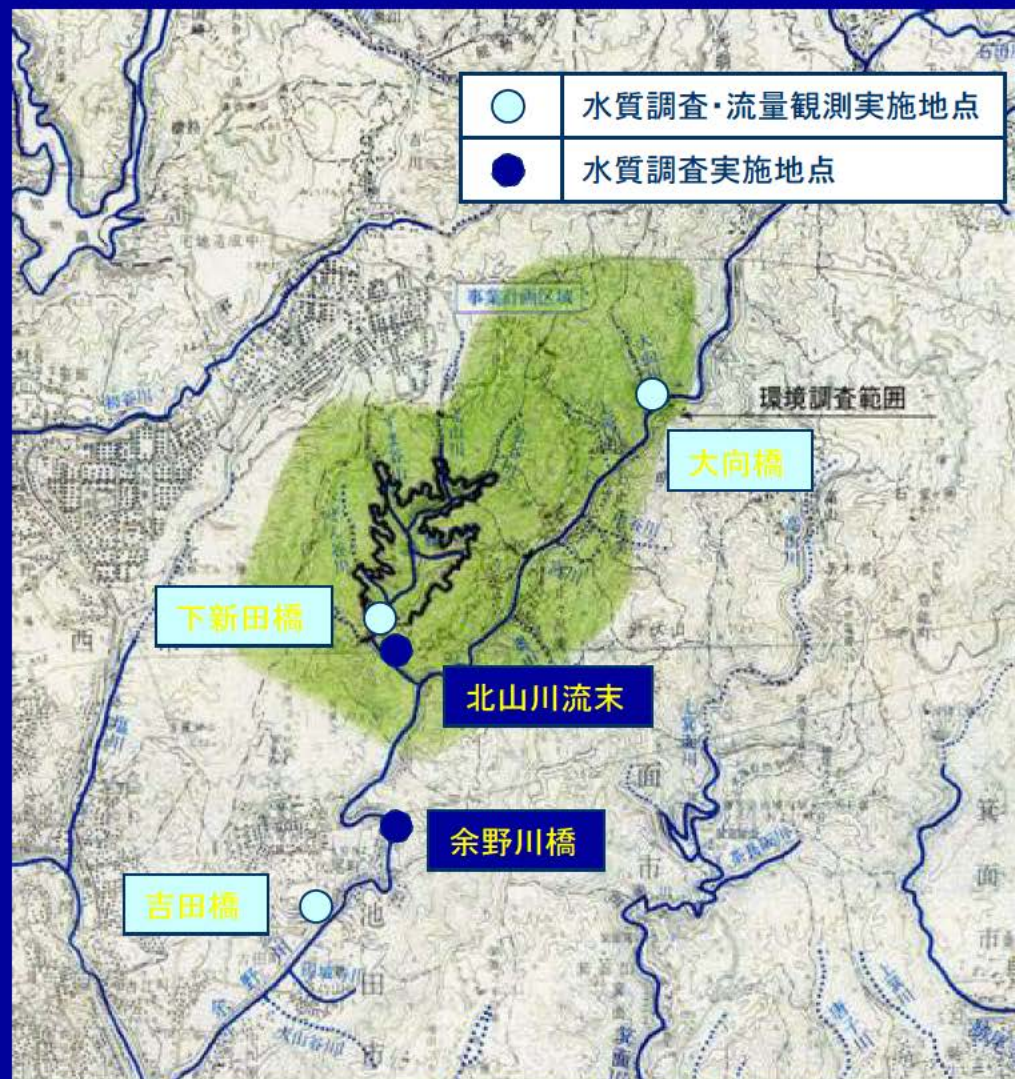
2001年2月撮

[illegible]

2 余野川ダム周辺の既往環境調査

○調査範囲

昭和51年以降、事業計画区域およびその周辺において、環境調査を実施しています。



環境調査範囲

項 目	S 51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
降水量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
気温		○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
流況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風向・風速													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大気質・気象																○	○									
騒音等																	○	○								
振動												○	○				○	○								
陸上植物	*					○			*		*			*	*		○	○		○			○		○	○
水生植物等	○				○			*		○	○			*	○		○				○					
哺乳類						○						*	*	*	*	○	○							○		
鳥類		○				○						*			○	○	*							○		
両生・爬虫類						○						○	*		○	○	○						○	○	○	
魚類	○				○	*		*		○	○	○		*	○	○	○				○					
昆虫類等	○				○	○				○	○	○	*	*	○	○	○				○		○	○	○	○
景観														*			○									

(注1) 表中において、「○」印は現地調査の実施時期、「*」印は文献・資料における調査時期

(注2) 表中において、「* *」印は大阪府が実施したもの

○調査項目(水質)

各地点での調査項目は以下のとおりです。

調査地点	大向橋、余野川橋、下新田橋、北山川流末、吉田橋
現地調査項目	水温、透視度
環境基準項目	pH、溶存酸素 BOD、COD、総窒素、総リン、SS、大腸菌群数
富栄養化項目	アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、有機態窒素、オルトリン酸リン
地質環境及びその他	濁度、電気伝導度
流 量	

吉田橋地点(平成14年より実施)については、富栄養化項目、地質環境及びその他については実施していません。

○ 調査結果(注目すべき種)

改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック・レッドリスト(環境省編)及び大阪府における保護上重要な野生生物 - 大阪府レッドデータブックに指定されている種(注目すべき種)は次のとおりです。

注目すべき種

- 哺乳類・・・ニホンリス、キツネ等 4種
- 鳥類・・・オオタカ、カワセミ等 10種
- 両生類・・・ニホンヒキガエル、モリアオガエル等 3種
- 爬虫類・・・アオダイショウ、イシガメ 2種
- 昆虫類・・・オオムラサキ、ゲンバイトンボ等 16種
- 魚類・・・タカハヤ、ドンコ等 4種
- 植物・・・エビネ、オオヒキヨモギ 2種

○調査結果(参考写真)

オオタカ



注)オオタカは、本地域で撮影された写真ではありません。

オオムラサキ



モリアオガエル



○ オオタカ保全地

平成11年2月に宅地開発の事業区域内において、オオタカの営巣が確認されたため、大阪府は専門家による「水と緑の健康都市オオタカ調査委員会」を設置し、オオタカの保全方策について検討が行われ、オオタカ保全地として約55haが設定されました。

○才才夕力保全地(航空写真)



2001年2月撮景

[illegible]

3 ダム建設による影響

○ 環境に影響を与えると考えられる項目

余野川ダム及び分派堰の建設に伴い、事業地及び下流河川の環境に影響を与えると考えられる項目は以下のとおりです。

- ・水量
- ・水質
- ・土砂移動の連続性
- ・動植物
- ・景観

○ 水量

水量への影響

- 洪水時及び平常時に余野川の水量の一部を貯水池へ分派導水することにより、分派堰下流の流量が減少します。
- 北山川及び北山川合流後の余野川は、ダムからの補給により、水量が変化します。

○ 水質

水質への影響

貯水池の出現により、貯水池内及び下流河川の水質が変化します。

○ 土砂移動の連続性

土砂移動の連続性への影響

ダム及び分派導水施設によって、土砂移動の連続性が遮断されます。



○ 動植物

動植物への影響

■ 事業区域への影響

貯水池及びダム、分派堰が出現することにより動植物の分断・孤立化、動物の移動阻害などの影響が生じます。

■ 下流河川への影響

ダム及び分派堰下流は、水量や水質の変化により、動植物の生息・生育環境が変化します。

○景観

◇景観への影響

貯水池の水位変化などにより裸地が生じる事が考えられます。

裸地



